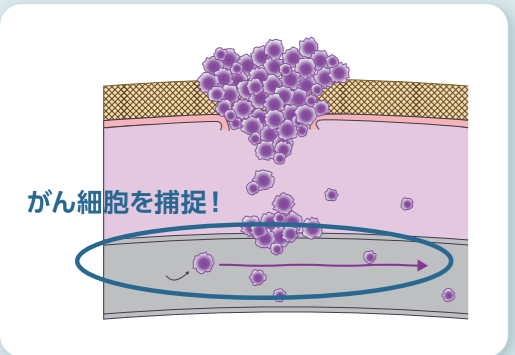


たった1回の採血だけで (所要時間 5分) 血中に流れるがん細胞を捕捉し 全身のがんリスクが明確にわかる

※ 血液がんを除く



国内のがん事情

今や、早期発見さえできれば、がんは十分治る可能性がある。

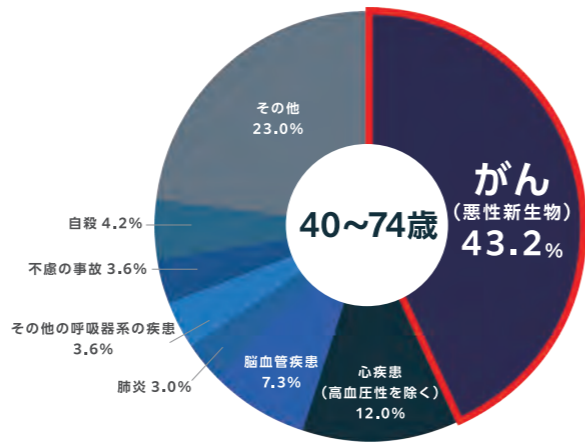
5大がんのステージ別5年生存率

	ステージⅣ	⇒	ステージⅠ
【肺がん】	7%	⇒	85%
【胃がん】	6%	⇒	98%
【大腸がん】	23%	⇒	98%
【乳がん】	38%	⇒	100%
【子宮がん】	26%	⇒	93%

出典：全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率/国立がん研究センター5年生存率データ

にも拘らず、40歳以上では43%以上がんで亡くなっている。

がんで亡くなっている人の割合



出典：三重県衛生統計年報 (令和元年)

それだけ多くの方が、実際は早期発見できていないということ

従来のがん検査の課題

がんは全身どここの部位でもなる可能性があるため本来は全身くまなくチェックする必要がある。

(例)ある病院のPET-CT主体の「全身がん検査」



PET-CTで発見されにくいがん

がんの種類
膀胱がん
腎がん
肝細胞がん
胃がん
子宮頸がん
前立腺がん

検査前 絶食6時間以上  
検査所要時間 6時間

男性 23万 1,000円  
女性 24万 2,550円

+ 脳・胃は含まれず別途追加の検査が必要

合計 28万 6,000円  
所要時間10時間超

よくある全身がん検査でも、足りない部位は沢山あり実際に全身をくまなくチェックしようと思ったら追加の検査を含めて丸一日以上かかり多額の費用が必要。

簡単にできる『がんリスク診断』も沢山あるが...

間接的にがんのリスク指数を提示

遺伝子検査	尿検査	腫瘍マーカー
この遺伝子はがんになりやすい	こんな匂いがする	こんな因子が増えている
はず	はず	はず

結果：リスク度合いの表示



従来リスク診断は納得感に課題

従来のがん検査の課題を解決する『マイクロCTC検査』

定期的に、全身くまなくがん検査を実施できている方は非常に少ない

そもそも時間が取れない 検査する部位が限定的



仕事が忙しい 子育てが大変で タバコを吸うから肺だけ 女性だから乳がんだけ

マイクロCTC検査



たった1回の採血のみ(所要時間5分) 血液がん以外の全身のがんリスクを細胞レベルで非常に高い精度で発見

『マイクロCTC検査』は血中に漏れ出したがん細胞そのものを検出するので、結果に対して大きな納得感があります。

マイクロCTC検査

180,000円/回

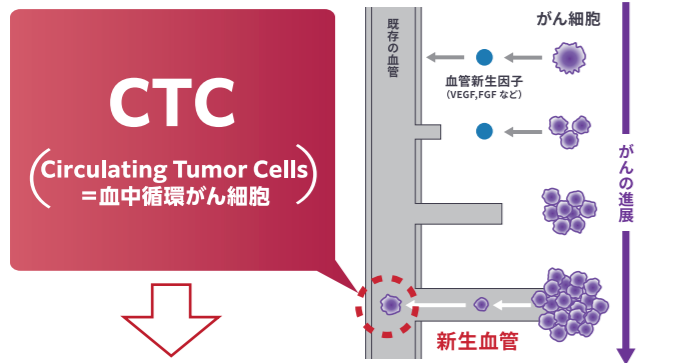
(税込 198,000円/回)

※別途診察料がかかる場合がございます。



今すぐ検査を受けられる 近くのクリニックを探す

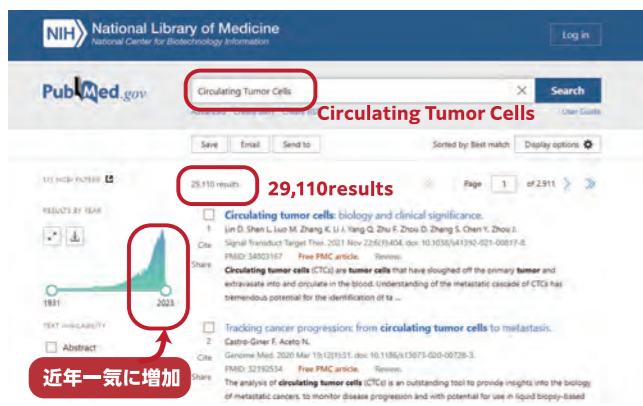
# CTC検査とは？



## CTCを捕捉できる先端検査がCTC検査

がん細胞は1ミリくらいの大きさになると『新生血管』と呼ばれる独自の血管を伸ばして既存の血管とつながります。そして、そのつながった新生血管を通して酸素や栄養を吸収し、更なる増殖を進めていきます。このとき血中には、つながった新生血管を通してがん細胞が漏れ出しはじめます。この漏れ出したがん細胞のことを「CTC」(血中循環がん細胞)と言い、「CTC検査」はこの血中に漏れ出したCTCを捕捉できる先端検査です。

世界中の医学論文検索ができるデータベース『PubMed』で『CTC』を検索すると世界では約29,000の論文が出ている



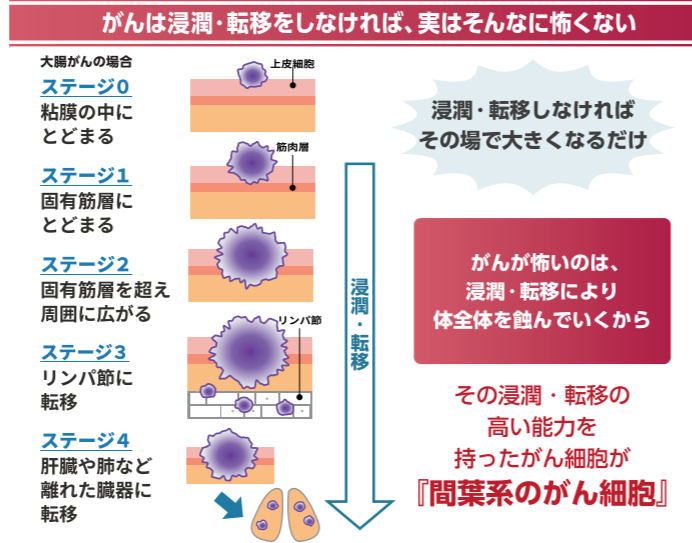
近年一気に増加

米国セルサーチのCTC検査は日本の厚労省にあたるアメリカのFDA(食品医薬品局)承認済み※



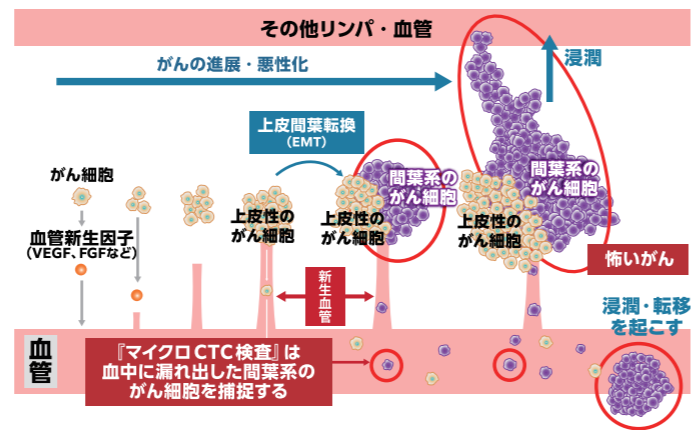
※マイクロCTC検査はFDAの承認を受けていません。

# 間葉系のがん細胞とは？



## CTC検査を更に進化させた『マイクロCTC検査』

下の図は左から右へがんが進展・悪性化している様子を表した図ですが、最初がんは悪性度の低い上皮性のがん細胞のみなのですが、進展・悪性化していく過程で上皮間葉転換がおり、浸潤・転移の高い能力を持つ間葉系のがん細胞に形質変化をおこします。マイクロCTC検査は、この血中に漏れ出した間葉系のがん細胞のみを特定して捕捉でき、その個数まで明示することで、ここまで進展しているがん細胞が体のどこかにあるということが、非常に高い精度でわかります。



# マイクロCTC検査の結果に対する大きな納得感

※特異度：がんでない人が陰性となる正確性  
乳がん患者を対象にした米国 MD アンダーソンがんセンターが発した論文より (Satelli A, et al. Clin Chem. 2015 ;61:259-66.)

※マイクロCTC検査は、世界有数のがん治療・研究施設の米国MDアンダーソンがんセンターが開発した、間葉系のがん細胞の検出において特異度94.45%という非常に高い精度を誇るCSV(細胞表面ビメンチン)抗体の世界独占利用権を獲得した海外の検査手法を導入しています。

## 日本初の検査センターで実現するマイクロCTCの検査品質

セルクラウドのマイクロCTC検査では、一般向けCTC検査としては初となる国内での自社検査センターを設け、採血後すぐに検査できる体制を実現しました。センター長には元順天堂大学医学部 前任准教授で悪性腫瘍の専門医である太田剛志博士が就任しています。

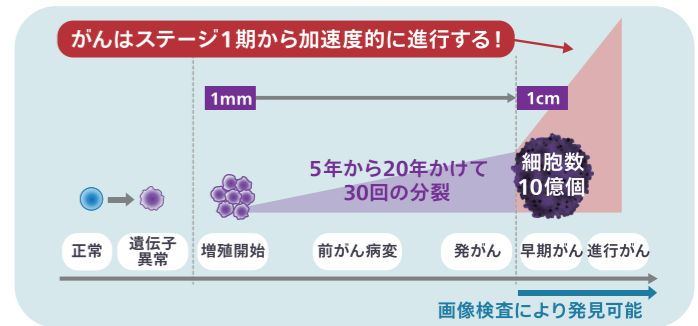
### 採血後の迅速な検査実施が不可欠

# マイクロCTC検査はこんな方におススメ

**1 納得できる全身がん検査を簡単に短時間で受けたい方**

数年がん検査を怠ったため、発見したときには進行がんになっていたり、検査をしていなかった部位でがんが発見され手遅れになってしまったというケースが後を絶ちません。マイクロCTC検査なら、たった1回の採血のみで全身のがんのスクリーニングが可能になります。

半年や1年でステージ2や3に進行するがんも珍しくない  
⇒安全に発見できる期間が実は非常に短い!!



## 2 がんの再発が心配な方

CTC検査はがんの再発リスクの早期発見に対しても有効だという事がアメリカの『MD アンダーソンがんセンター』の研究論文で発表されています。(Chinniah, et al. Clin Lung Cancer. 2019; 20: 384)